

仙台市立住吉台小学校



マスクで守ろう住小っ子 プロジェクト



阿部千幸校長

コロナ渦でのマスク不足に対応しようとPTAの声掛けでPTA、学校、連合町内会、学校支援本部コンパス住吉台が協力して、地域の皆さんにマスク寄付や手作りマスクの作成をお願いしました。

プロジェクトの概要

期間	タイムスケジュール①	タイムスケジュール②
2020/5/1～7/31	<p>4/19 企画立案</p> <p>4/21 コンパス住吉台・連合町内会後援依頼</p> <p>4/28 小学校HPで呼びかけスタート</p> <p>5/1 れんちょう東西掲載 協力・呼びかけ</p> <p>5/1 寄付受付開始</p> <p>5/19 1回目完成マスク袋詰め開始</p> <p>5/19 河北新報社・JCOM取材</p> <p>5/21 河北新報社新聞掲載</p> <p>5/21 1回目配布完了</p> <p>5/22 JCOM放映</p>	<p>6/1 れんちょう東西 2回目掲載</p> <p>6/12 2回目配布準備</p> <p>6/23 2回目配布完了</p> <p>6/30 プロジェクト終了</p> <p>7/1 れんちょう東西 3回目掲載</p> <p>7/2 お礼状・5・6年生お礼手紙 仕分け</p> <p>7/4 連合町内会 御礼報告</p> <p>7/4～ 地域の皆様へお礼状お渡し</p> <p>7/14 連合町内会報告会</p> <p>8/1 泉西二地区社会福祉団体協議会報告</p>



プロジェクトキャラクター【サキちゃん】
 子どもたちみんなが、お父さんお母さん地域の人のたくさんの愛情が詰まったマスクに守られてほしい

概要：「子どもたちのマスクが不足していると聞いて作成した。どこにどう届けたいか」地域のかたよりご相談をいただく。

PTAにても子供マスクが不足していたので、自分たちも作成し地域にも協力していただけないか。

⇒ 地域の協力を得て、住吉台小学校児童のマスクを確保できないか。（児童数340名）

- ①手づくりマスク縫製者の募集
- ②マスク材料寄付の呼びかけ
- ③マスク自体の寄付の呼びかけ
- ④マスク作成キットの準備、お届け、完成品の受取り
- ⑤寄付品の受付・受取り
- ⑥集まったマスクの袋詰め作業
- ⑦児童への配布 1回目・2回目
- ⑧今後の活動は学校支援地域本部コンパス住吉台へ移行



縫製・完成品・サージカルマスク・材料寄付

タスク	合計枚数	期間	寄付・縫製人数	メモ
完成品マスク	851	5/1～7/31	16名	地域の皆様を始め、高校生も
サージカルマスク	1261	5/1～7/31	8名	町内会、個人の皆様
材料寄付		5/1～7/31	多数の皆様より	布や、ガーゼ、糸など